



## 第 53 回 埼玉県医学検査学会の御礼

第 53 回 埼玉県医学検査学会 学会長 瀧沢 義教

多くの皆様より温かいご支援とご協力を賜り、「第 53 回埼玉県医学検査学会」を盛会のうちに無事終えることができましたこと、心より御礼申し上げます。

当日は幸いにも晴天に恵まれ、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行が懸念される状況ではありましたが、臨床検査技師会員、理事、研究班班員、技師会事務所職員、賛助会員、そして当日の運営にご尽力いただきました実務委員の皆様のお力添えにより、一般市民の皆様を含む 1295 名の方々にご参加賜りました。これもひとえに皆様のご理解とご協力の賜物であり、心より御礼申し上げます。また、演題数は 100 題に上り、活発な学術交流の場となりました。学生の皆様にも多数ご参加賜り、心より御礼申し上げます。

今回の学会では、「Hop Step Jump ～飛躍する未来に向けて、今学ぼう～」をテーマに掲げ、実行委員会にて AI 分野、災害対策、感染症、心理に関する特別講演等を企画いたしました。ご参加いただいた皆様お一人おひとりが未来に向けた学びを深め、次の一步を踏み出すきっかけとさせていただけたのであれば、これに勝る喜びはございません。

埼臨技青年部企画や研究班企画による講演につきましても、「大変参考になった」、「勉強になった」とのご意見を多数頂戴しております。ご尽力いただきました関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

市民公開講演では、「流行感染症にかからない・うつさないためにできること」や「埼玉県救急電話相談」に関するご講演に加え、埼玉県立伊奈学園総合高等学校吹奏楽部の皆様に素晴らしい演奏をご披露いただき、会場は大きな感動に包まれました。ご来場の皆様からは、「学びが多く、演奏にも癒された」とのお声を頂戴しております。臨床検査技師の仕事を市民の皆様にご紹介する貴重な広報の機会となり、大変意義深い時間となりました。また、市民公開講演終了後には、参加された市民の方より感謝のお手紙を頂戴し、演者へのご質問もお寄せいただきました。さらに後日、学会長宛に 3 名の市民の方から御礼とご感想を頂戴いたしましたことをご報告申し上げます。こうしたお声を頂戴できたことは、私たちにとって大きな励みであり、企画して本当によかったと実感しております。

ここに、学会ホームページを通じて「第 53 回埼玉県医学検査学会」無事終了のご報告と御礼を謹んで申し上げます。

最後に、長きにわたりご尽力いただきました実行委員の皆様に、改めて心より御礼申し上げます。